

県政レポート

ほんまに
ゆるやかなかん

VOL.17



ホームページ

白井 Go!
ゆきのり

令和6年2月定例会議において、以下の項目について質問をいたしました。

【滋賀県産業立地戦略について】

Q: 今年度末に策定予定の滋賀県産業立地戦略の「目的」と、それを実現することによって、どのような状態を作り出そうとしているのかを問う。

A: < 商工観光労働部長 >

滋賀県産業立地戦略は、県外からの産業誘致に加えまして県内立地企業の再投資やスタートアップの育成を推進することで、本県産業の更なる発展につなげることを目的として策定するものです。

多様な分野の産業立地によりまして、税込増加、雇用創出、地域の消費拡大が図られ、地域の活性化、さらには本県の豊かさが持続・増進していく状態を作り出してまいりたいと考えております。

Q: 令和6年度より、産業立地を強化するため滋賀県が主体となって、「市町と連携」して大規模な産業用地開発事業に取り組みますが、詳細について問う。

A: < 商工観光労働部長 >

「県と市町の連携による産業用地開発事業」は、滋賀県が主体となって開発を行うもので、県内市町から候補地を募集いたします。募集期間は、3月下旬から7月下旬までの予定で、開発規模は、大規模立地に対応できるよう、1カ所10ha以上としており、北部地域1カ所、その他地域1カ所の2カ所を選定し、進めてまいりたいと考えております。

Q: 「県と市町の連携による産業用地開発事業」の選定から外れた候補地への対応について問う。

A: < 商工観光労働部長 >

各候補地は、選定から漏れたものにつきましても、市や町で実現性や立地条件等を十分に検討いただき、提出されたものであると考えております。その候補地につきましても、市町や民間が主体的に開発を進められる場合には、産業立地サポートチームを編成し、部局連携で土地利用調整に努めるなど、しっかりサポートしてまいりたいと考えております。

Q: この戦略を成功に導くには、企業側の視点に立って考えなければなりません。滋賀県産業立地戦略「世界から選ばれる滋賀」に向けての思いについて知事に問う。

A: < 知事 >

一層、地域間競争が激化していくと想定される中、税込増加、雇用の創出、地域の消費を拡大するなど、様々な効果が期待できる産業立地を強力に推進していくことが必要と考えています。

本県の多くの強みを活かしながら、ワンストップでスピーディーに対応し、かつ、近隣府県に見劣りしない設備投資を呼び込む「新たな支援制度」を設け、立地後の円滑な操業支援まで切れ目ない施策を積極的に展開することにより、世界から選ばれる滋賀の実現を目指してまいりたいと存じます。

子どもや親が交流できる施設
浜松子ども館の視察

浜松子ども館は多様な社会・文化体験と多様な交流機会を提供し豊かな創造性を育むことを目的に、2001年にオープン。2021年にはパワーアップしてリニューアルオープンし、昨年12月には会館21年で来場者数400万人を達成しました。

特徴として大半の職員が、幼稚園教諭や保育士の資格を持っている子育てのプロで、子どもや家族連れが自由に遊べる空間や、五感を使って冒険したり、発見できたりするような魅力的な遊具を提供していますが、子どもの遊び場としてだけでなく、親同士の交流の場や保育士を配置した託児など子育て支援機能も有しています。

同子ども館では、赤ちゃんから成長に合わせて参加できる子育て支援プログラムや、年齢を問わず参加できる遊び体験プログラムを開催している。保護者や他の子どもと一緒に遊ぶことで、遊びには自然とルールが出来上がり、その中で多様性への理解や共感が身に付くということも期待されます。

独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所の視察

神奈川県横須賀市にある同研究所は我が国の特別支援教育のナショナルセンターとして設置され、特別支援教育に関する研究のうち、主として実際の研究や特別支援教育関係職員に対する専門的、技術的な研修を行うこと等により、特別支援教育の振興を図ることを目的としています。通常学級に在籍する小中学生の8.8%に、学習面や行動面で著しい困難を示す発達障害の可能性があると、文部科学省が2022年12月13日に発表した調査結果で明らかにしました。

つまり、通常学級を受け持つ教師も、様々な受け取り方をしている生徒がいることを前提に障害の特性を理解し、授業を進めるための工夫が必要になるということで、今まで以上に教員のスキルアップが求められます。

滋賀県では、希望ヶ丘文化公園内に「滋賀県総合教育センター」があり、教育に関する専門的、技術的事項の研究および教育関係職員の研修が行われていますが、特別支援教育総合研究所の協力もいただきながら、滋賀県の教育の総合力を高めていきたいと思っております。

東京国立博物館の視察

東京国立博物館は、日本と東洋の文化財の収集保管、展示公開、調査研究、普及などを目的として独立行政法人国立文化財機構が運営する国立博物館です。

日本最古かつ最大の博物館であり、本館、表慶館、東洋館、平成館、法隆寺宝物館の5つの展示館と資料館その他の施設からなり、2023年4月時点で、国宝89件、重要文化財649件を含む収蔵品の総数は約12万件あります。

滋賀県では県立の「(仮称)新・琵琶湖文化館」の工事が間もなく始まります。施設は、収集保管、展示公開、調査研究等の基本的なミュージアム機能に加え、地域の文化財のサポートセンター機能や文化観光の拠点となるビクターセンター機能を備えた『近江の文化財』を保存・継承・活用・発信する中核拠点と位置づけています。

東京国立博物館では、来館者を増やすための取り組みを、熱心に行っており、規模の違いはありますが、新・琵琶湖博物館にも多くの来館者を迎えたいと考えていますので、勉強をさせて頂きました。

ハイパフォーマンススポーツセンター
(HPSC) の視察

HPSCは、オリンピック・パラリンピックでの活躍を目指すトップアスリートがトレーニングを行うなど、競技力強化に当たって欠かすことのできない、日本の国際競技力強化の中核拠点です。

HPSCでは、オリンピック競技とパラリンピック競技を一体的に捉え、スポーツ医・科学、情報等による研究、支援及び高度な科学的トレーニング環境を提供し、国内外のハイパフォーマンススポーツの強化に貢献しています。また、地域におけるトップアスリートの「サポート環境の整備」と「サポート・スペシャリストの養成」を促進することで、質の高いサポートが全国各地で実施されるような環境を構築する事業も行っています。

滋賀県では、1981年の「びわこ国体」以来44年ぶり2度目となる、「わたしHIGA輝く国スポ・障スポ2025」の開催を目前に控え、選手の発掘や競技力の強化が課題となっています。





県議会議員 白井ゆきののり 県政レポート

自由民主党滋賀県議団
常任委員会 教育・文化スポーツ常任委員会
特別委員会 地方創生・子ども政策推進対策特別委員会(委員長)

桜の開花の便りに心はずませる季節、皆様には益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り有難うございます。さて、いよいよ新しい年度が始まります。先日、閉会した2月議会において、令和6年度の予算が可決成立いたしました。主な予算についてご報告させていただきますが、滋賀県も厳しい財政事情の中、不断の行財政改革に取り組みつつ、新しい事業も計画をし、県政を一步一步前に進めようとする予算になっています。私も県議会議員として、次年度もしっかりと県政の課題に取り組んでまいります。皆様の声を1つでも多く県政に届け、県民にとって、より良い滋賀となるよう頑張っておりますので、変わらぬご厚誼をよろしくお願い申し上げます。

令和6年3月吉日 滋賀県議会議員 白井ゆきののり



滋賀県 新年度一般会計予算 総額6,145億円 とともに生きる! 未来につなぐ みんなでつくる『健康しが2.0』

【滋賀県】2023年度と2024年度一般会計予算の比較

数字は億円。1億円未満を四捨五入しているため、合計があわない場合がある。

歳入	2023年度 6583億円	2024年度 6145億円				
		県税 1858	その他の 自主財源 1444	地方交付税 1280	国庫 支出金 1194	県債 529
		1793	1742	1320	634	598

歳出	2023年度 6583億円	2024年度 6145億円				
		人件費 1664	扶助費 687	公債費 777	投資的 経費 804	その他 2560
		1733	687	743	920	2062

総務・企画

県立高等専門学校設置費(事業用地の整備) 建設総工費118億円 **5億8,558万円**

私立学校補助金 **1億8,841万円**

CO₂ネットゼロ推進 **7億5,531万円**

省エネ、再生エネ 加速化推進 **3億5,583万円**

電子県庁推進費 AI、デジタル変革、ビジネスチャット運用 **1億8,754万円**

北部3市(長浜・高島・米原) 振興プロジェクト **2億4,000万円**

新 移住相談窓口(大阪)設置 **532万円**

地籍調査補助金(18市町) **1億7,142万円**

自治振興交付金 **5億868万円**

大阪関西万博推進事業 **7億3,000万円**

滋賀の戦略PR(デジタル版・海外発信) **1,850万円**

びわ湖情報ハイウェイ運用費 **3億2,426万円**

医療福祉拠点整備 旧教育会館の解体 **2億4,705万円**

消防学校施設改修(総額8億8,062万円3年間) **1億1,780万円**

環境・農林水産

琵琶湖博物館大水槽の再整備 **2億300万円**

しが農業担い手育成 未来の農業振興 **3億8,945万円**

環境こだわり農業推進 **4億6,183万円**

農村まるごと保全 **10億3,687万円**

北部農業プロジェクト **1,985万円**

土地改良事業費 **63億4,665万円**

森林づくり事業 少花粉スギ育成・びわ湖材利用助成 **16億6,290万円**

造林公社償還金 **29億7,754万円**

琵琶湖水田農業推進 **5億4,199万円**

「世界農業遺産」プロジェクト推進 **2,990万円**

伊吹山保全対策 **4,250万円**

巨樹・巨木保全 高島・杉野・丹生地区 **770万円**

鳥獣害対策 ニホンジカ、ニホンザル カワウ、イノシシ捕獲 **3億965万円**

有害外来魚ゼロ作戦 **2,324万円**

琵琶湖レジャー対策費 **1,900万円**

肉用牛振興対策 キャトルステーション運営など **1億9,139万円**

畜産物消費拡大支援 **1億3,610万円**

食肉流通推進 **6億8,000万円**

水産物流通対策 **2,980万円**

水産物資源維持対策 フナ・アユ(放流12t)・ビワマス・ウナギ **8,429万円**

水草刈取 **2億7,132万円**

早崎内湖再生 **5,300万円**

西の湖水質改善 **1,460万円**

マザーレイクゴールズ推進 **1,310万円**

教育・文化スポーツ

全国高校総体 近畿ブロック大会 **1,450万円**

希望ヶ丘文化公園施設整備(総額2億1,000万円2年間) **1億5,769万円**

「彦根城」世界遺産推進 **1,600万円**

指定文化財保存管理 **2億245万円**

国スポ開催準備事業費 **11億2,370万円**

選手競技力向上対策 **8億4,000万円**

県立プール(草津)整備 **4億1,562万円**

県立彦根野球場防球ネット **6,000万円**

バリアフリー対策 **1億3,000万円**

県立彦根球場・県立アリーナ・長浜ドーム

県立高校改修建設 草津・石山・守山北・八幡工など **24億1,160万円**

県立高校LED化 **2億233万円**

特別支援学校建設 **4億7,367万円**

「幻の安土城」プロジェクト **6億6,470万円**

「彦根城」世界遺産推進 **1,600万円**

指定文化財保存管理 **2億245万円**

国スポ開催準備事業費 **11億2,370万円**

選手競技力向上対策 **8億4,000万円**

県立プール(草津)整備 **4億1,562万円**

県立彦根野球場防球ネット **6,000万円**

バリアフリー対策 **1億3,000万円**

県立彦根球場・県立アリーナ・長浜ドーム

北大津養護学校増築・野洲、草津養護学校狭小化に伴う新養護学校の施設計画 **2億4,000万円**

スクールカウンセラー ソーシャルワーカー活用 **2億4,000万円**

教員の働き方改革推進 **1億6,495万円**

部活動指導員配置 **4,490万円**

高校(運動部35名、文化部13名)、中学(122名)

学習船うみのこ活動 1泊2日102航海 **4億6,647万円**

子ども・子ども・子ども関連予算 289億円

子育て環境づくり **15億5,548万円**
滋賀で家族になろう事業 滋賀で誕生ありがとう事業

母子保健対策 **3億3,288万円**
妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

子ども医療費助成 **15億1,486万円**
高校生までの医療費無償化(今年9月より)

利用しやすい保育所づくり **33億2,815万円**
保育対策(18市町) 5億2,925万円
地保育者支援(19市町) 2億5,400万円

ひとり親医療給付金 **3億8,700万円**

ヤングケアラー支援 **1,819万円**

子ども図書館設置 **1,337万円**

フリースクール 取り組み支援 **2,120万円**

近江学園整備 **41億3,198万円**

新設 日野子ども家庭センター費 **2,137万円**

県庁に4月から 子ども若者部(知事部局)

災害対策

地方合同庁舎発電設備強化 **3,682万円**
発電能力3日間72時間連続可動

トイレトレーラー整備2台 **7,260万円**

災害時の湖上輸送計画検討 **1,000万円**

能登半島地震被災者支援予算 DWATの派遣など **3,352万円**
DMATの派遣など **4,033万円**

石川県への災害派遣支援費 **5,333万円**

令和5年度 補正対応 避難所の運営支援など(1月~3月分) **9,796万円**

土木・交通・警察

道路関係公共事業 **256億600万円**

砂防関係公共事業 **41億5,361万円**

都市公園整備 **18億9,033万円**

河川関係公共事業 **124億2,211万円**

直轄河川整備 **1億7,229万円**
(瀬田川・野洲川・大戸川ダム)

交通安全推進 2億6,226万円、道路除雪費 8億6,394万円
国直轄道路負担金80億円(国道161号・1号・8号)

草津市内の主な土木工事予算

道路名	工事内容	河川名	工事内容
大津能登川長浜線(草津3丁目)	交差点改良	草津川(矢橋町~橋岡町)	浚渫
浜街道(南山田町)	道路拡張・歩道整備	北川(矢倉・野路)	天井川切下げ
山手幹線(山寺町~馬場町)	新設バイパス	旧草津川(区間1)(北山田町・下笠町)	河道内公園整備
片岡栗東線(芦浦町)	歩道・交差点改良	帰帆島中間水路(矢橋町)	人工水流実証試験
大津草津線(野路町川の下)	歩道・歩道橋改修	水草除去(下笠沖・湖岸)	根こそぎ・表層刈取り
浜街道(下笠町交差点)	道路拡張・歩行者信号機	公園名	工事内容
浜街道(北大萱町~下笠町)	道路拡張・歩道整備	琵琶湖湖岸緑地(矢橋町・帰帆1)	水洗トイレ・上下水
計画道路平野南笠線(滋賀医大東側)	道路拡幅(4車線化)	琵琶湖湖岸緑地(志那町・志那1)	水洗トイレ・上下水
近江八幡大津線(下物町・道の駅)	駐車場拡張	帰帆島公園(矢橋町)	遊具更新
浜街道(志那中町)	歩道橋改修		

厚生・産業

商工会、商工会議所活動費 **14億4,255万円**

中小企業団体中央会補助金 **10億117万円**

地域医療総合確保 効率的に質の高い医療体制構築 **22億3,200万円**

救急医療対策 済生会滋賀、大津日赤、長浜日赤 **3億5,200万円**

県立病院事業繰出金 **9億5,100万円**

看護職員確保 **2億9,600万円**

がんばる医師応援補助(1名約300万円) **1億8,500万円**

看護職員確保対策 **2億9,600万円**

障害者福祉対策事業費 障害福祉職員の2%給料支援経費 **15億7,436万円**

障害者自立支援 **120億6,170万円**

産業用地開発調査(南部・北部1ヶ所整備) **1,168万円**

持続可能な物流支援 経営改善・人材確保 **7,845万円**

レイカディア大学推進 **1億8,100万円**

ここ滋賀推進事業費 **2億300万円**

観光イベント推進 びわ湖花火大会など **3,000万円**

観光振興推進費 シガリズム観光 大河ドラマ発信 国際観光 ビワイチ観光 **4億7,644万円**

動物保護管理推進費 **8,234万円**

介護総合対策費 介護福祉人材職2%給料経費支援 **7億8,283万円**

生活保護費 **11億9,000万円**

自殺対策 **4,338万円**

大丈夫か! 未来の滋賀県?

令和6年度予算 財源不足 **182億円**

基金取崩 **132億円**

県債発行 **50億円**

借金(県債発行額) **6,974億円**
実質借金(臨時財政対策債以外)

預金(基金残高) **774億円**
(令和5年度末見込)

かた県政 後始末予算?

新幹線新駅 地域振興事業費 **950万円**

丹生ダム地域整備 事業費 **1,330万円**